

『危機管理防災研究』執筆要綱

1. 原稿の形式及び分量

- 原稿は、原則として、ワープロソフトにより執筆する。
- 原稿の分量は、総字数 17,000 字以内（図表、写真その他を含む。）とする。ただし、Microsoft Word を使用するときは、フォントサイズを 11、ページ設定を 22 字×40 行×2 段（1,760 字）に設定した上で、10 枚以内（17,600 字以内）とする。
- 原稿には、ページ番号を挿入する。
- 図表、写真その他（以下「図表等」という）は、別紙に作成し、挿入すべき箇所を本文中に指定する。なお、指定の方法は自由とする。

2. 原稿本文の執筆様式

- 原則として、和文は全角文字を、英文は半角文字を、数字はアラビア数字を用いる。
- 本文の句点は全角（「。」）を、読点は全角（「、」）を用いる。
- 本文には章、節の番号を付し、それぞれ見出しを付けなければならない。

【見出しの記述例】

- 1. 民間企業の危機管理の現状
- 1-1. 調査の概要

3. 引用及び参考文献の記述

- 引用及び参考文献の記述は、次に掲げる方法による。
 - ① 本文中の引用文献及び参考文献については、論文の末尾に一括して、著者名をあいいうお順に記述する。なお、欧文の場合、アルファベット順とする。
 - ② 同一著者による文献が複数あるときは、発行年の古いものから順に記す。
 - ③ 論文名は括弧（「 」）を、書名は二重括弧（『 』）を用いる。

【引用・参考文献の形式と例】

単行本（単著）：著者名（発行年）『書名』発行所。

単行本（共著の一部）：著者名（発行年）「論文名」編著者名『書名』発行所。

雑誌：引用論文著者名（公刊西暦年）「表題」『掲載雑誌名』巻（号）発行所。

【実際の例】

中邨章（1993）『東京市政と都市計画』敬文堂。

佐藤竺（2000）「地方行政の変革」中邨章編著『自治責任と地方行政改革』敬文堂。

松下圭一・村松岐夫（1990）「戦後政治と地方行政」『レヴァイアサン』6号、木鐸社。

- ④ 欧文の書名及び雑誌名は、イタリック（斜体）で記す。
- ⑤ 著者名は、姓（Surname）、名（Given name）の順に記す。
- ⑥ 外国語文献は、それぞれの言語の標準的な表記に準ずる。
- ⑦ 翻訳書については、原書、翻訳書の順に記す。なお、翻訳書は括弧で括る。

【例】

John Creighton Campbell (1977) *Contemporary Japanese Budget Politics*, University of California Press. (真淵勝訳 (2014)『自民政権の予算編成』勁草書房)

4. 引用の方法

- 本文及び注での引用の記述は、次に掲げる「方式1」又は「方式2」のいずれかによる。

・「方式1」

- ① 引用する箇所には、引用する文献の著者名及び発行年、必要な場合には引用頁を（氏名、発行年、引用頁）の形式で記す。
- ② 複数の引用文献があるときは、（氏名1、発行年、引用頁）（氏名2、発行年、引用頁）などとする。

【例】

（中郵章、1993）（中郵章、1993、15-17頁）（Campbell, 1977, pp. 50-52）

- ③ 同一著者の文献を複数引用するときは、「；」で区切って列記する。

【例】

（中郵章、1993、11頁；2003、23頁）（Campbell, 1977, pp. 50; 1992, pp. 25）

- ④ 同一著者が同一年で複数の公表があるときは、a、b…を付して区別する。

【例】

（中郵章、1993a、30頁）（Campbell, 1977a, p. 31）

- ⑤ 同一文献の複数箇所を引用するときは、「、」で区切って列記する。

【例】

（中郵章、1993、15頁、27頁）

- ⑥ 引用文献を本文中の注に入れたときは、引用文献を文末の引用及び参考文献の欄に記述する。

・「方式2」

- ① 引用箇所の最後に通し番号を付す。
- ② 論文の末尾に<注>と明記し、通し番号順に一括して記述する。なお、<注>における引用及び参考文献の記述は、「3. 引用及び参考文献の記述」に準じ、著者名、発行年、書名又は論文名、発行所・雑誌名等、引用頁を記述する。

【例】

「……である¹。」 「……と言える¹²。」

<注>

¹ 佐藤竺 (2000) 「地方行政の変革」中郵章編著『自治責任と地方行政改革』敬文堂、15-17頁。

¹² 松下圭一・村松岐夫 (1990) 「戦後政治と地方行政」『リヴァイアサン』6号、木鐸社、12-13頁。

5. 図表等の記述

- 図表等には、通し番号を付す。
- 図表等には、簡潔な説明（キャプション）を付すことができる。
- 通し番号及び簡潔な説明（キャプション）は、原則として、表の場合にはその上部分に、図、写真の場合にはその下部分に、それぞれ記述する。
- 図表等には、出典等を記す。

【例】

表1 一都三県の人口（2017年）

埼玉県	7,310
千葉県	6,246
東京都	13,724
神奈川県	9,159

（出典）総務省「人口統計」

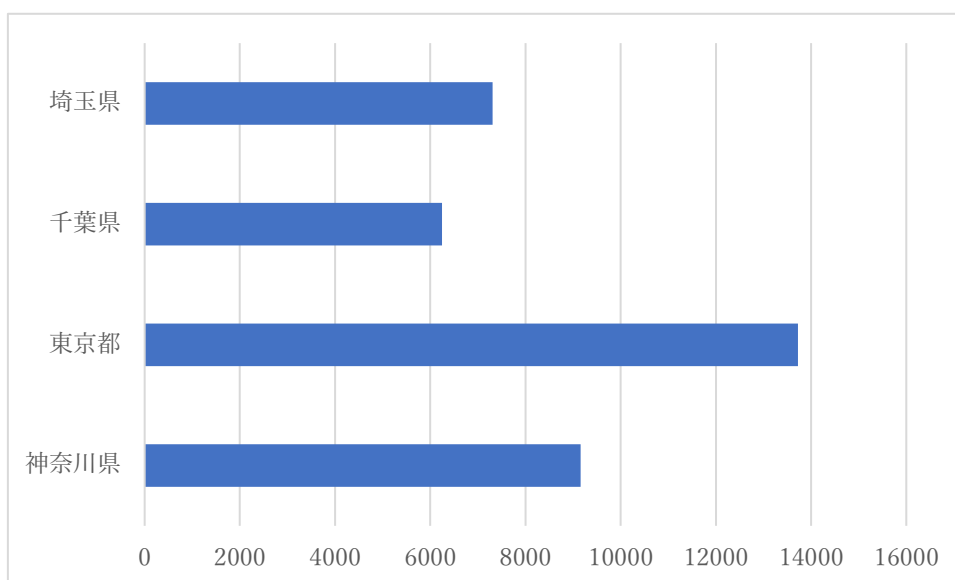


図1 一都三県の人口（2017年）

6. 執筆要綱の改廃

- この執筆要綱の改廃は、会長の定めるところによる。

（2019年7月17日制定）